



幸福度日本一の静岡県

静岡県上下工水一体官民連携導入可能性等調査業務委託 仕様書(案)の説明

第1章 総則

第1節～第3節は省略（仕様書(案)本文をご確認ください）

第4節 履行期間

契約締結の日から令和9年3月25日(木)まで

第5節 業務概要

1 業務の内容

1. 業務計画書の作成
2. 現状把握と課題の整理
3. 官民の役割分担の検討
4. 収支シミュレーションの実施
5. 民間事業者の意向把握
6. 対象事業の組合せ検討
7. 事業スキーム(案)の作成
8. 情報開示資料の作成

2 調査対象範囲

上水	駿豆水道用水供給事業、遠州広域水道用水供給事業	2事業
下水	狩野川流域下水道事業(東部処理区、西部処理区)	1事業(2処理区)
工水	柿田川工業用水道事業、ふじさん工業用水道事業、静清工業用水道事業、中遠工業用水道事業、西遠工業用水道事業、湖西工業用水道事業	6事業

第6節 提出書類等

業務着手時	(1)業務着手届 (2)業務計画書 (3)業務工程表 (4)再委託に関する協議依頼書
業務完了時	(1)業務完了報告書 (2)業務打合せ記録 (3)業務に関する資料、データ(CD-ROM等)

第7節～第12節は省略 (仕様書(案)本文をご確認ください)

第13節 業務の再委託

- 1 受注者は、本業務を一括して、または、本業務における総合的な企画及び判断に係る業務について再委託してはならない。
- 2 受注者は、1に規定する業務以外の再委託については、業務再委託届を提出し、発注者の承諾を受けなければならない。ただし、受注者が本業務の企画競争において提出した企画提案書記載の委託先については改めての承認を要さない。
- 3 受注者は、再委託先に対して、業務の円滑な実施のため、適切な指導及び管理を行わなければならない。

第14節は省略 (仕様書(案)本文をご確認ください)

第2章 業務の詳細

第1節 業務の内容

項目	内容
1 業務計画書の作成	実施方針、実施工程及び実施体制を示した業務計画書を作成
2 現状把握と課題の整理	事業概要、対象事業の範囲、施設の維持管理・更新及び運営上の条件並びに官民連携手法の目的・期待する効果などを整理し、その課題及び前提条件を整理する。 なお、前提条件の整理に当たり、以下に関する事項についての調査を実施する。 <前提条件> ア 資産リストの作成等 イ 水道事業等の主要な契約・協定の整理
3 官民の役割分担の検討	官民協働運営における最適な役割分担、リスク分担を検討する。 また、民間事業者の自由度を確保するスキームや性能発注の仕組み等 を検討する。
4 収支シミュレーションの実施	事業の採算性確保に加えて、現行の手法と比較して財政負担が軽減されるかどうか、また、効率的かつ効果的に事業が実施できるかどうかを検証するために、地域(県全体、東部、中部、西部)、事業手法(レベル3.5、コンセッション等)、施設等の条件を踏まえ、複数の収支シミュレーションを行い、VFMを算定する。

項目	内容
5 民間事業者の意向把握	民間事業者参入の可能性を把握し競争環境を整えるため、民間事業者の意見を聴取し、より多くの民間事業者が参入するための条件等を調査確認する。
6 対象事業の組合せ検討	収支シミュレーションや民間事業者の意向把握の結果を加味した上で考えられる対象事業の組合せを3案以上作成し、収支シミュレーションにより算定した定量的な評価(VFM等)に、定性的評価を加え、それぞれのメリット、デメリットを整理する。
7 事業スキーム(案)の作成	導入対象とした事業について、これまで検討した組合せの中から官民の役割分担・リスク分担や民間事業者の意向を反映した事業実施条件などを事業スキーム(案)として取りまとめる。
8 情報開示資料の作成	上記調査結果を踏まえ、水道事業等の財務情報及び施設情報の整理を実施し、当該事業に係る情報開示資料を取りまとめる

第2節 成果品

本業務の成果品は、以下のとおり

報告書(A4カラー刷り 製本)	5部
報告書概要版	5部
報告書参考資料集	5部
上記3点の電子データ(CD-ROM)	3部

- ◆ 報告書はワード、エクセル、パワーポイント形式とPDF形式で作成するとともに、報告書内で作成した図表グラフ等は、県にて加工可能な形式で提出すること。
- ◆ 成果品の内容等に不備があった場合は、速やかに無償で対応すること。